

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2022年 7月 6日

枚方市長 殿



## 提出者

住 所 枚方市村野高見台1番40号

氏 名 フジパン株式会社枚方工場 工場長 武藤 俊吾

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-840-0961

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジパン株式会社枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市村野高見台1番40号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09：食料品製造業					
②事業の規模	生産金額 256億円					
③従業員数	860					
④産業廃棄物の一連の処理の工程						

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																												
(管理体連携)																												
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																												
(1)現状																												
<p>【前年度（2021年度）実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>有機性汚泥</th> <th>燃チラスチック</th> <th>動植物性灰渣</th> <th>動植物性灰渣</th> <th>施油（油物）</th> <th>施油（油物）</th> <th>管理型混合危機物</th> <th>管理型混合危機物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排出量</td> <td>3232 t</td> <td>365 t</td> <td>65 t</td> <td>333 t</td> <td>78 t</td> <td>51 t</td> <td>0 t</td> <td>21.5 t</td> </tr> <tr> <td>(これまでに実施した取組)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.3 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品を包装する際は、資源を回収する旨の表示（以下「アフターフラッシュ」）を記載するべし。</li> <li>・製品包装上に記載された表示に従うが、他の包装との差異を避けるために、資源を回収する旨の表示を記載する。</li> <li>・日々の廃棄物を精査して、資源を回収するため、データー収集する。日々の廃棄物を比較して黒点を抽出して、10%以上削減する。</li> </ul>		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	燃チラスチック	動植物性灰渣	動植物性灰渣	施油（油物）	施油（油物）	管理型混合危機物	管理型混合危機物	排出量	3232 t	365 t	65 t	333 t	78 t	51 t	0 t	21.5 t	(これまでに実施した取組)								0.3 t
産業廃棄物の種類	有機性汚泥	燃チラスチック	動植物性灰渣	動植物性灰渣	施油（油物）	施油（油物）	管理型混合危機物	管理型混合危機物																				
排出量	3232 t	365 t	65 t	333 t	78 t	51 t	0 t	21.5 t																				
(これまでに実施した取組)								0.3 t																				
(2)計画																												
<p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>有機性汚泥</th> <th>燃チラスチック</th> <th>動植物性灰渣</th> <th>動植物性灰渣</th> <th>施油（油物）</th> <th>施油（油物）</th> <th>管理型混合危機物</th> <th>管理型混合危機物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排出量</td> <td>3200 t</td> <td>380 t</td> <td>60 t</td> <td>350 t</td> <td>0 t</td> <td>50 t</td> <td>1 t</td> <td>21 t</td> </tr> <tr> <td>(今後実施する予定の取組)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.3 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>②計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物性灰渣のリサイクル率を10%以上、削減率を10%以上にするよう努めます。</li> <li>・資源を回収する際は、資源を回収する旨の表示（以下「アフターフラッシュ」）を記載する。</li> <li>・資源を回収する際は、資源を回収する旨の表示（以下「アフターフラッシュ」）を記載する。</li> </ul>		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	燃チラスチック	動植物性灰渣	動植物性灰渣	施油（油物）	施油（油物）	管理型混合危機物	管理型混合危機物	排出量	3200 t	380 t	60 t	350 t	0 t	50 t	1 t	21 t	(今後実施する予定の取組)								0.3 t
産業廃棄物の種類	有機性汚泥	燃チラスチック	動植物性灰渣	動植物性灰渣	施油（油物）	施油（油物）	管理型混合危機物	管理型混合危機物																				
排出量	3200 t	380 t	60 t	350 t	0 t	50 t	1 t	21 t																				
(今後実施する予定の取組)								0.3 t																				
産業廃棄物の分別に関する事項																												
<p>(分明している産業廃棄物の種類及び分別に関する見地)</p> <p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃チラスチック、動植物性灰渣、混合灰渣、スラグ（以下「SUS」）；有機性灰渣、施油（油物）、灰渣、洗浄水、洗剤、金封料、油池（以下「オイル」）はゴミ箱に捨てている。</li> <li>・加工工程の段階毎に、分別に適した小箱が用意されている。</li> </ul> <p>②計画</p> <p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売上に記載し、加工工程毎に分別の説明を増加しましたので、右端物と資源への分別を強調して契約書に記載しました。</li> </ul>																												



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	2939 3232 t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄時の残渣の流し込みを抑え、排水処理の汚泥減少に努める。</li> <li>・脱水機の管理精度を高めた。</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	2920 3200- t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の取組みを引き続き実施する。</li> </ul>			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## ①現状

t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## ①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 2020年度）実績】	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック
全処理委託量	385 t
優良認定処理業者への処理委託量	385 t
再生利用業者への処理委託量	t
認定熱回収業者への処理委託量	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)	
・廃棄物コンテナには、さまざまなものは混ぜず廃棄物毎に量がわかるようにしているので、過剰にでる廃棄物には原因調査し、以後出ないように取り組む。	

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## ①現状

t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

有機性汚泥	動植物性残渣	動植物性残渣	廃油
295 3232 t	333 t	78 t	0 t
295 3232 t	333 t	78 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## ①現状

t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

廃油	管理型混合物	蛍光灯	
51 t	21.5 t	0.3 t	t
51 t	21.5 t	0.3 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t



		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック
②計画	全処理委託量		380 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量		380 t	60 t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年同様に、無駄に発生する廃棄物などに対して確認、対応し、無駄な廃棄物発生を抑制する。</li> <li>・ 上記の取組み制度を高めるため、自社での計量をIOT化して廃棄物量の見える化の実施。</li> <li>・ 廃プラを火力発電エネルギーへとまわす。</li> </ul>				
※事務処理欄				

## ②計画

有機性汚泥	動植物性残渣	動植物性残渣	廃油
280 3230 t	350 t	0 t	0 t
280 3230 t	350 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

## ②計画

廃油	管理型混合物	蛍光灯	
50 t	21 t	0.3 t	t
50 t	21 t	0.3 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

